

催していく方法が考えられる。気象学会としては今後も検討課題とすることとした。

5. 選挙制度等に関する会員からの提言について
現在の役員選挙のあり方について提言があり、第17回常任理事会の検討をもとに、選挙制度及び役員
の任務等について審議された。第17回の常任理

事で議論されたように選挙制度の問題に限らず、学会運営に関する役員制度も含めて、今後も引続き検討することとした。会員の意見は、「天気」6月号の「会員の広場」に掲載して会員の間でも議論してもらおうよう、選挙管理委員会が処置を行った。

日本気象学会および関連学会行事予定

| 行事名 | 開催年月日 | 主催団体等 | 場所 | 備考 |
|----------------------------|-----------------------|--------|--------------|-----------------|
| 宇宙科学の国際夏期大学 | 1990年7月30日 ～8月17日 | CNES | マルセイユ | Vol. 37, No. 1 |
| 水文・水資源学会 | 1990年8月1日 ～3日 | | 東京(中央大) | |
| 日本農業気象学会 | 1990年8月7日 ～10日 | | 札幌(北大) | |
| 西太平洋地球物理会議 | 1990年8月21日 ～25日 | AGU | 金沢 | Vol. 37, No. 6 |
| 日本地理学会 | 1990年9月30日 ～10月1日 | | 上越市(上越教育大) | |
| WMO 診断と長期予報 に関する国際研究集会 | 1990年10月8日 ～19日 | WMO | 中華人民共和国 | Vol. 36, No. 11 |
| 日本雪氷学会 | 1990年10月15日 ～17日 | | 十日町 | |
| 日本気象学会 平成2年度秋季大会 | 1990年10月24日 ～26日 | 日本気象学会 | 京都府総合見本市会館 | |
| 第27回自然災害科学 総合シンポジウム | 1990年10月30日 | 同実行委員会 | 熊本郵便貯金会館 | Vol. 37, No. 4 |
| 大気汚染学会 | 1990年10月31日 ～11月2日 | | 金沢 | |
| 生気象学会 | 1990年11月16日 ～17日 | | 長崎(長崎熱帯研究所) | |
| 環境科学会 | 1990年11月28日 ～30日 | | 東京(虎の門パストラル) | |
| 第11回風工学シンポジウム | 1990年12月6日 ～7日 | 同専門委員会 | 中央大学理工学部 | Vol. 37, No. 1 |
| 気候変動による環境・社会 影響に関する国際会議 | 1991年1月27日 ～2月1日 | UNEP | 筑波大学 | Vol. 36, No. 11 |
| 第20回測地学・地球物理学 学連合総会 | 1991年8月11日 ～24日 | IUGG | ウィーン | Vol. 36, No. 12 |

編集後記：毎年梅雨どきになると、北と南の気団の違いをまさしく肌で感じることが出来ます。前線が南下した時の朝夕の凌ぎ易さは捨て難いのですが、ここはひとつ夏らしい夏に期待を込めて、南の気団に声援を送ることといたしましょうか。

編集委員会では「天気」の印刷方式を従来の活版から、現在の「集誌」が採用しているような電算写植による平版に移すべきか否かについて検討してきました。

先日、理事会でも議論していただきましたが、「天気」の場合月一回の刊行を厳守しなければならない事、多種多様の原稿を取り扱わねばならないこと等々のため、今すぐ移行してもメリットは少ないというのが現状です。

当面は結論を急がずに検討を継続してゆくこととします。活字のキレの良さを好まれる方には朗報といえるかもしれませんが。

(S1. Y)